

複式学級 11月の暮らし（令和5年11月）



木々の葉っぱが赤く染まった11月、複中による複低さんへの読み聞かせ会を行いました。読み聞かせ会に向けて、声の出し方を工夫したり、読み聞かせが終わった後にお話にまつわるクイズを出したりするなど、複低さんが楽しめる仕掛けをたくさん準備していました。当日は、準備の甲斐もあり、複低さんの笑顔があふれる素敵な読み聞かせ会になりました。また数日後には複中教室にある絵本を読むために遊びにきた1年生の姿も見られました。複式の仲も深めつつ、読書を楽しんでほしいものです。



そして11月は東雲教育研究会がありました。コロナの影響があったため、複高の子どもたちにとっても制限のない開催は4年ぶりのことでした。少しでも複高の子どもたちの日記を紹介します。

研究会は音楽と道徳でした。道徳は、いつもより発表ができなかったのですがこういう特別な場でも積極的に発表できたらいいなと思いました。でも、いつもの姿を見せることができたのでよかったです。

1時間目は音楽でした。工夫して演奏し、どんな気持ちで演奏したらいいのかを話し合えました。2時間目は道徳でした。私は三回発表することができたので大満足です。

1時間目に音楽の授業を受けました。アングルンの授業でした。グループで話したことを発表するときは、緊張でかまないようにゆっくり発表することができました。2時間目の道徳ではたくさん発表することができました。いつも通りに授業を受けることができました。

道徳では40人くらい来ました。視線をすごく感じてこわかったです。しかし、がんばって文章を書きました。今年の研究会は最後まで頑張れたので良かったです。

「いつもと違う環境で、いつも通りの力が発揮できる。それが、地力がついたということ。」複高の子どもたちには折に触れて話をしています。東雲小学校だからこそ、力を伸ばせる機会でした。

